

この山に登ろう⑩  
広島県標高第2位の秀峰

吉和冠山

1339 m

廿日市市吉和



頂上にて

広島登山研究所 代表 松島 宏

恐羅漢山（標高1346m）に次ぐ広島県第2位の高峰を紹介します。頂上付近の特徴的な尖った形状がまさに冠山なのです。頂上の北側が懸崖になっています。周囲から望むとその尖った頂でどこから見ても「あれは吉和冠山だ!」と分かってしまいます。1996年に開催された広島国体では縦走競技の会場として使われました。現在の魅惑の里をスタートして頂上がゴール。トップの選手達は15kg位の荷物を背負い、確か1時間位で登っ

てきました。信じられないスピードですね。

登山口は吉和の潮原温泉、冠高原の松の木峠、寂地峡の3箇所があります。裏技ですが中津谷林道の標高点725mから小川林道を進み、標高1100mの頂上近くの駐車場まで車で上がってこることもできます。廿日市市吉和支所に連絡して林道入口の鍵を借りなくてはいけません。林道は荒れていることが多いです。アプローチは自家用車が便利です。中国自動車道を使えば吉和ICから直ぐです。



斜線は磁北線 東西約500m間隔 長さ約1kmに設定



写真1：潮原温泉

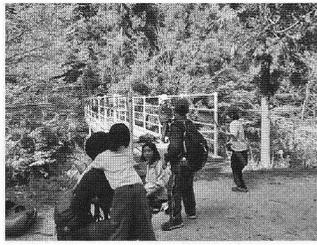


写真2：登山口 鉄橋



写真3：クルソン谷出合



写真4：沢渡る

一般道だと西広島バイパス宮内交差点から県道30号、旧佐伯町経由で国道186号に入り吉和へ。戸河内方面から国道186号で吉和へ。

自家用車を登山口に置いて往復する場合は潮原温泉か松の木峠です。車を移動できれば、また2台準備すれば、松の木峠から登って温泉のある潮原に降りるのが一般的です。健脚の方は両登山口から吉和冠山・寂地山・右谷山・容谷山まで繋ぐこともあります。チャレンジしてみてください。一般的な潮原と松の木峠からのコースを紹介します。

潮原温泉(標高620m)(写真1)から北西に進みます。中国道の下をくぐって50m先辺りが広いので、右の橋を塞がないように数台置けます。広兼産業という廃タイヤ処理工場を過ぎて右に入ると新しい林道が左に分かれ、どんどん登っていきます。Sカーブを過ぎ、砂防堰堤から100m先が登山口です。塗装の剥げかかった白い鉄の橋があります(写真2)。この登山口付近と林道の広がった所に数台駐車可能です。橋を渡って直ぐの登山道が今年5月初旬の大雨で少し崩壊しています。気をつけてください。潮原沿いに暗い植林の中を進んでいきます。潮原温泉から距離約1.2km、標高差280m、約1時間で木の橋が二つあるクルソン谷分岐に到達します(写真3)。ここからは明るい自然林です。左の

クルソン谷に入り20分で沢を渡り(写真4)10分登ればクルソン岩分岐です。もう20分で標高1120mの鞍部、素敵なブナの木広場です(写真5)。クルソン岩からのコースと合流します。ここから頂上まで30分。頂上直下は素晴らしいブナの原生林です(写真6)。

松の木峠(標高790m)には広い駐車場があります。ここからの尾根ルートは私のお気に入りルートのルートです。標高1000m位からのブナやミズナラの自然林は素晴らしい、の一言です。標高点1164mから寂地山分岐付近はまさに原生林そのもので、その鬱蒼とした森に圧倒されます。途中急な登りもありますがここまで約1時間30分。寂地山分岐から東に下りた所が太田川の源流とされる鞍部です。水量のある時は川になっています。分岐から冠山頂上まで約30分。4月下旬から5月上旬はカタクリ(写真7)、6月初旬から中旬にはオオヤマレンゲやサラサドウダン等の可憐な花がこの辺りに咲き乱れます。

(まつしま ひろし)

潮原コース

潮原温泉→(20分)→登山口→(40分)→クルソン谷出合→(50分)→ブナの木広場→(30分)→吉和冠山頂上  
所要時間 頂上まで：2時間20分(下り2時間)  
(標高差720m 距離約4km)

松の木峠コース

松の木峠→(90分)→寂地山分岐→(30分)→吉和冠山頂上  
所要時間 頂上まで：2時間 下り1時間40分  
(標高差550m 距離約4km)



写真5：ブナの木広場



写真6：頂上近くのブナ林

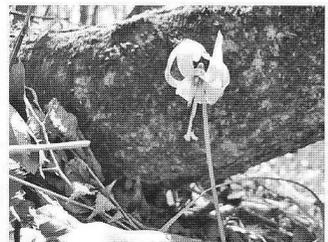


写真7：頂上付近のカタクリ